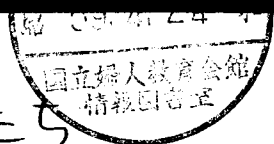


HAND in HAND

はんど いん はんど



疲れ、あきらめた女たち

☑ 初夏の若草色がまぶしいですね。みなさま、お元氣ですか。心が弾むような季節のせいでしょうか。4月23日の離婚講座は70人もの参加がありました。「子供のため」「くらしていけないから」とあきらめている人たちも木々の芽がき、花々の咲きにおうのをみれば、心騒ぐものがあるでしょう。

☑ それにしても、疲れきり、あきらめ、死んだような結婚生活を送っている女たちが なんと多いことでしょう。離婚講座におかてくる人たちはまだ、前向きな心とエネルギーを持っています。でも、電話の向うの声は夫との闘い以前に、生活に疲れ、からだを悪くし、エネルギーが枯渇していました。

☑ 4月11日から22日までの土日を除く10日間、離婚110番の5台の電話は鳴りつづけてした。東京大阪を中心に、北は北海道の札幌から南は沖縄まで 実に519件の相談があり、その9割は女性からでした。彼女たちは法律や福祉の知識に無知であるだけでなく、夫の一方的な意見や言葉をおかしいと疑問に思う能力も失くしていました。学費も高く、考える力もあるはずなのに、夫を通してしか社会と接触してこなかった、孤立した妻たちの悲痛な叫びが大部分でした。

☑ 女は強くなった、離婚はファッションのように増えている、と心ない人々は無責任に放言しますが、女たちはまだまだ、余儀なく結婚生活を強いられているのです。彼女たちのために、今度の10日間だけでなく、常設の離婚110番をもちたいと願わずにいられません。

(1983. 5. 1. 内より)

再婚

それはめんどうなもの

四月二十一日のオニ三回東京

はんどいんはんどの会では面白
試みをしてみました。参加者十七名の
方々に突然「再婚」というテーマを与
え、五分間に見いついたことを書きし
めしつたのです。それを読みあげて、
デイスカンションにうつつたのです。が
結婚という制度々中での男女関係
うきほりにされ、問題点が多々
出てきた。大変有意義な会になり
ました。ここに、皆さんにも、五分間
書きとめた「再婚」についてこの意見を
一部ご紹介したいと思ひます。

★ ★ ★

●「再婚」この言葉は私にとって無縁の
ように思われる。現在、結婚生活が平
うんかりして別れる算段をしる
時だ。私は55歳、戦中の教育を受

け、結婚について深く考へることもな
く、ただ女のあこがれみたいなものと
女にとってそれが生きる道が無い
のだという観念から結婚した。
その生活は惨憺たるものだった。
ん妻はロボットか、スーパーマンか
奴れいとしか思わぬ夫の過剰した
った。どの男も夫は男、大差はな
いと思う。これから私自身の時間と
とり戻し、積年の念願が叶った。
せうかく手に入れた自由を男の爲
にムサムサ使ひ果たすとはしない。

●まだ離婚していませんが、彼と生活
していた中で感じ続けていた問題は
他の人との関係の中でも同様にあるよ
うな気がするのです。必ずしも今の
彼と別れて、他の男性と一緒に生活する
は、お互いがどういう関係をつくって
いか、どのような生活をしていくか等、
充分に語り合えて、自分の個性を
大切に、変えながらでも、相手を尊重
して、良い関係を、つづくとする意
志を持ち合えなければ無理です。
けれど、私も仕事と家事に忙しい
し、つづつサマリーマンの気持は、毎日
夜遅くまで働き、休日はどこに
いる人が多いようです。今のところ一
緒に生活することに期待を持てません。

人はいれば楽しいこともありますが、
生活を共にするのは大変でしょう。
●何度も結婚はしてみたい。い
んなりと深く知り合いたい。生き
以上は、この世に男と女がいる以上、女
けで生きようとは思いません。
生活と共にすれば、また色あせて
と同じになるかもしれない。それ
また決められないこと。あれもこれ
モラトリウム人間だから、自分を決
けず、人との出会いを大切にす。
週末だけのハズレなステキだ
と思う。結婚して男と暮らしたい
たら、また新しい自分を発見さ
ても今はもう少し、ゆとりと自由にな
たのだから一人に決めるのはつま
いという気持になり。恋愛と結婚
は違うという人はいますけど、私は
アランドシフからうた恋愛と結婚
は結びつくと思つてゐる。

●晴れて離婚出来たのだし、今
折、全然考えなし。今後、大
な且つ尊敬出来る人を見つても、同
は可能でも再婚はしないつもり。
なぜなら、自身の責任に於いて
自由が貴重だから。

●再婚はしたくありません。初婚
より、色々の物事をひきずり、
新たな、わすれやうきに接すること

ハンド・イン・ハンドの会のお知らせ

東京の会合は24回目を迎えました。大阪も昨月7月以来、着々と発展しています。今度、茨城のほうでも会合をもとうという動きがでてきました。連絡世話係をして下さる方、いい方で、これらの会の発展もおおいに期待できそうです。(円)

■ 第24回東京ハンドインハンドの会

- ・5月19日(木) 6:30～8:00 p.m.
- ・新大塚ビル1F (サンパティックサロン)
- ・電話予約必要 (03-402-7354) 18日3時迄

■ 大阪の会

- ・5月28日(土) 1:00～4:00 p.m.
- ・住友中之島ビル5F 大阪府情報センター
- ・(予約)

■ 茨城の会 (Tel. 〃)

連絡を

☆☆☆ 第43回ニコニコ離婚講座 ☆☆☆

[期日] 5月20日(金) 1:30～4:00 p.m.

[場所] 青山ラ・ミアビル4F (地下鉄銀座線「表参道」A5出口)

[受講料] 1,000円

[内容] オ1部「離婚後の生計と福祉」円より子
オ2部「必要な法律と手続き」金住典子

編集後記

へんでも
かんでも

★過日 大阪の連絡係、さんおれさんあり。会場を確保するため、さんが、大阪府情報センターへ行、て並んだ。すると「おたくのような離婚した人たちの情報交換の場には今回限りで使えない」と断られたとのこと。私「まさか！ 公立のセンターがどうい差別をするなんて許しがたい。」さん「円さんもやっぱり腹たてるおね。私もかとして新聞社の人に話したら、そんなものたる。」です。怒るほうがおかしいのかしらと

思ってしまった。怒るべし、怒るべし。なにゆえ、リコンした人間は差別されるのか。抗議書だしましょうか。翌日、さんは現場へとび、次の会合日も予約し、係におやませたのでした！

★保育園ぐらし、児童扶養手当基準の強化など、私たちの生活をあげやがす波、そして戦争への波が押しよせています。また、悪法のワラ金規制法も通りました。庶民はただただ、忸かされ、苦しいだけの暗い時代になりそうです。めげずに頑張りたいですね。

(発行年月日) 1983年5月1日

(編集発行人) 円より子

(発行所) 現代家族問題研究所
〒150 東京都渋谷区神宮前
3-33-2 原宿ハイム202